

報告事項才

令和4年度山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要について

令和4年度山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要について、別紙のとおり報告します。

令和4年8月8日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和4年度山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要について

令和4年8月8日

鳥取県教育センター

- 1 日 時 令和4年7月13日（水）午前9時から11時まで
- 2 場 所 鳥取県教育センター等（Web会議システムを使用した遠隔会議）
- 3 出席者 島根大学教育学部副学部長、講師  
島根大学教育学部附属教師教育研究センター長、副センター長、講師、  
特任教授、事務スタッフ  
島根大学教育学部附属教育支援センター長、副センター長  
鳥取市総合教育センター所長  
鳥取県教育センター及び鳥取県教育委員会事務局関係各課長等  
（主管は鳥取県教育センター）

4 内 容

（1）若手教員の育成について

- ・山陰若手教員交流セミナー（第2回に向けた課題の整理、方向性のまとめ）
- ・本年度の初任者訪問（昨年度の課題を踏まえた今年度の取組）

（2）養成での取組について（確認事項）

- ・とっとり未来教師セミナー
- ・1000時間体験学修（母校で経験を積みませんか？、CHA3プログラム等）

（3）更新講習関係

- ・来年度に向けた取組について（本年度の更新講習の状況や「学び続ける教師応援講習」を踏まえての来年度の方向性）

（4）その他

- ・ジュニアドクターの教員参加について

5 主な意見・提言

○連携強化と教員支援・人材育成に向けた具体的取組

- ・本年度より開催している山陰若手教員交流セミナー第1回は、勤務経験の違いを活かしたグループ協議を行った。失敗や成功体験等の活発な情報交換により、教員同士が助言しながら悩みや考えの共有ができた。参加者の振り返り等を参考に第2回の充実を図る。
- ・初任者研修において、島根大学出身者への島根大学教員の同行訪問を本年度も実施する。実態の把握とともに、悩みや困り感に応じた助言や支援を行い、初任者の意欲向上につなげる。
- ・困り感のある島根大学出身の初任者や若手教員への相談・支援を随時連携して行う。
- ・1000時間体験学修の取組が、県内の各地域において、それぞれの方法で広がりを見せている。学生段階で児童生徒との関わる機会や学校の状況を知る機会となり、有効である。
- ・とっとり未来教師セミナーも1000時間体験学修の取組の一つに位置付けるなど、連携して進める。
- ・改正教育職員免許法の成立により、島根大学が「学び続ける教師応援講習」を本年度実施する。教員の資質・能力の向上に向けて、国の方針を見据えながら、連携して来年度以降の方向性を探っていきたい。